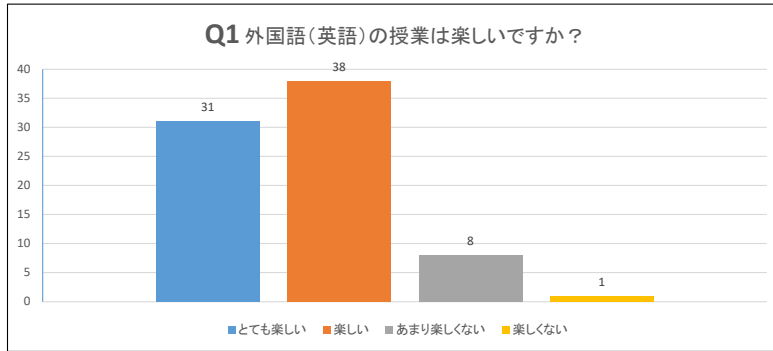
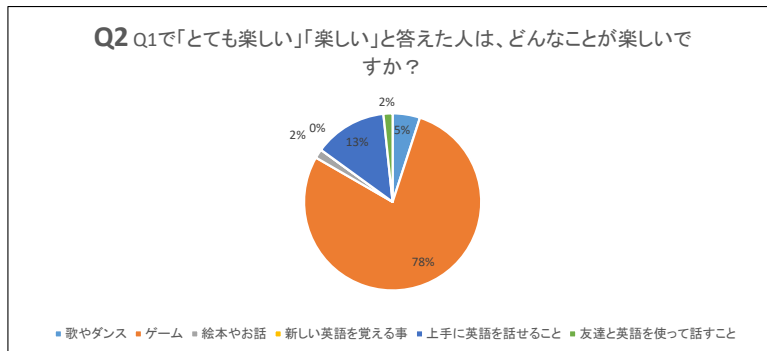


令和4年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(豊野小学校)



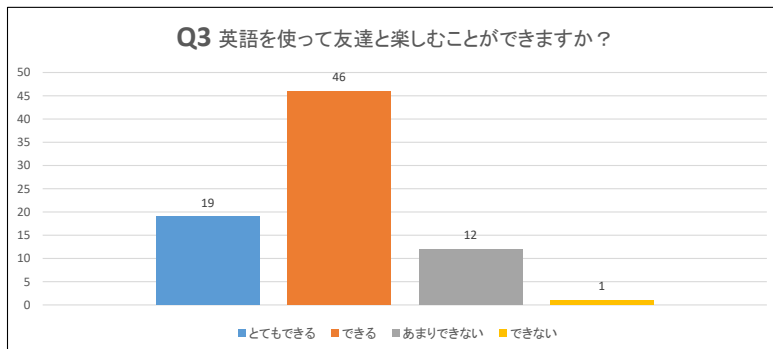
【Q1について】

「外国語(英語)の授業が楽しい」と答えた児童は回答78人中69人であり、全体の88.5%である。本校は、ALTの活用に加え、施設一体型小中一貫校の利点を最大限に生かし、中学校英語担当教諭の乗り入れ授業を5～6年生を対象に行っている。学級担任と連携を図りながら、児童のサポートを手厚く行っていることが、児童の安心感につながっているものと考えられる。



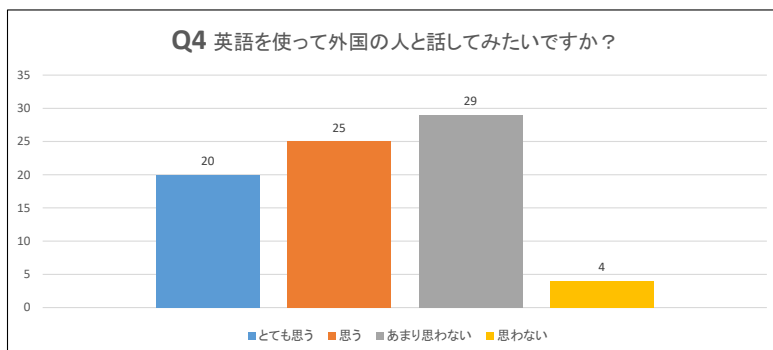
【Q2について】

歌やダンス、ゲームなどをおして外国語活動の楽しさを実感できていると考える。「英語を上手に話せることが楽しい」と答えた児童が昨年度に比べ増えている。引き続き、単なる活動の楽しさにとどまらず、「英語を話せた」「伝えたいことが伝わった」という達成感や充実感を伴う楽しさを感じられる授業づくりに努めたい。



【Q3について】

「あまりできない」「できない」と答えた児童が16.7%いる。英語の授業が「楽しくない」と感じている児童だけでなく、「楽しいが自信がない」という児童もいるものと考えられる。スモールステップでの達成目標の設定を行ったりペア学習等における教師のサポートをさらに充実させたりしながら、児童一人一人の不安や抵抗感を取り除いていく必要がある。



【Q4について】

「あまり思わない」「思わない」と答えた児童が42.3%に上った。生活の中であまり外国の人と接することができないことも要因の一つと考えられるが、やはり児童の自信のなさがうかがえる結果と受け取る必要がある。ALTを有効に活用し、児童とALTがふれあう場面を設定した授業づくりに努めたい。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

- ・「楽しい」から一歩進んで、自信をもって外国語(英語)を使った活動に臨む児童を育てたい。
- ・中学校英語になめらかに接続するために、基本的な単語、表現については確実に身に付けさせたい。
- ・外国の人だけでなく、地域の人などにも積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けさせたい。

【考察・今後の展望等】

- ・引き続き、ALTや中学校英語担当教諭を有効に活用し、児童一人一人が自信をもって学習に臨めるよう支援を行っていく。
- ・児童に身に付けさせたい表現を身近な生活と関連付けながら活動に取り入れるとともに適切な評価を行うことで、児童の「できた」という達成感や自信、「もっとやってみよう」という意欲につなげたい。